



神明中だより

<http://www.suginami-school.ed.jp/shinmeichu/>

教育目標 創造・鍛錬・共生

校訓 自主・自律

令和2年10月28日

10月号

杉並区立神明中学校

杉並区南荻窪2-37-28

WIN-WIN の関係

校長 山内 清一

10月17日（土）に予定されていた体育大会が雨天順延のため20日（火）に行われました。新型コロナウイルス感染防止に努めながらの体育大会でしたが、無事終わることができました。平日にもかかわらず、ご声援・ご協力いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

今年度は全体練習や学年練習が例年より少ない中、限られた時間での準備でしたが、子ども達は自分達の手で体育大会をつくり上げようと精一杯、練習、競技、係活動に取り組みました。特に3年生の最後まであきらめずに頑張る姿には、これまでの成長を感じさせてくれるものがありました。全校生徒が一つのことに真剣に本気で取り組む姿に「中学生らしく輝いている姿」を見ることができました。1・2年生には来年に向けて、今年を上回る体育大会をつくり上げてくれることを期待しています。

さて、体育大会は「個人の頑張り」も大切ですが、「人と人とが関わることを学ぶ」活動でもあります。「学力」と同じように「よりよい人間関係を築く力」を育てることが学校の役割だと思っています。子ども達がこれから幸せな人生をつかむためにぜひ身に付けてほしい力です。

よい人間関係とはどのような関係を言うのでしょうか。「WIN-WIN の関係」が理想だと言われます。お互いが幸せになるような関係です。これはおとなの社会、ビジネスの世界でも通用する考え方です。人は一人では生きていけません。必ず自分と自分以外の人との関わりの中でしか生きていくことができません。したがって、自分と自分以外の人との関係を常に考えていかなければならないということです。

スポーツの世界の望ましい「WIN-WIN の関係」を紹介します。イチロー選手とダルビッシュ選手、そして田中将大選手です。いずれもメジャーリーグ・日本球界を代表する選手です。プロスポーツの世界は、まさしく勝ち負けの世界ですが、イチロー選手は、ライバルである最高のピッチャーの投げた最高の球をヒットにするために練習をします。一方、ダルビッシュ選手や田中将大選手は、ライバルであるバッターを三振に打ち取るため、また自分の最高のボールを投げ込むために練習をします。

試合の結果では勝ち負けがあるにしても、競い合うライバル同士は「WIN-WIN の関係」だからこそ、お互いに高め合うことができます。世の中には多くの人間関係が存在しますが、ぜひ「WIN-WIN の関係」を望ましい人間関係を築く始まりと捉えてほしいと思います。

体育大会も、クラスの人間関係の質が高まったからこそ、練習を始めた頃に比べて内容も質も高めることができたのです。

《10月のアルバム》

《体育大会》10月20日（火）



《セーフティー教室》1年生10月23日（金）・3年生10月24日（土）



【1年生 喫煙・薬物の乱用と健康】

【3年生 薬物乱用教室】

《花壇コンクール》2年生10月24日（土）



【クラスで分担】

【各班ごと植え付け】

【11月の予定】

11/4	（水）	小中合同職員研修会	17	（火）	期末考査（国・理・音）
5	（木）	理科プラネタリウム（3）	18	（水）	期末考査（数・技家・美）
7	（土）	土曜授業（3時間）	19	（木）	耳鼻科検診（全）
14	（土）	サタスタ（10時～12時）	27	（金）	専門委員会
16	（月）	期末考査（社・英・保体）	28	（土）	土曜授業（3時間）